

平成29年度前期 情報検定

<実施 平成29年6月18日（日）>

1 級

(説明時間 13 : 20 ~ 13 : 30)

(試験時間 13 : 30 ~ 14 : 30)

- ・ 試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・ 解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・ 試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・ 試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・ 辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・ 電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - * パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話（PHS）、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は17ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後にお知らせする合否結果（合否通知）、および合格者に交付する「合格証・認定証」はすべて、Webページ（PC、モバイル）での認証によるデジタル「合否通知」、デジタル「合格証・認定証」で行います。
 - ①団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ②合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。

問題 1 次の情報の整理・分析技法に利用される図に関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (1) 各枝に要因（原因）を記述し，特性（結果）との関係を整理した図である。特性からの1段階目の要因を大骨とし，その要因の要因を掘り下げて中骨とし，さらに要因を掘り下げて小骨としていくことで，テーマをどんどん掘り下げ，要因を探り出す。
- (2) あるデータ間に相関関係があると思われる場合，その2種類のデータをそれぞれ縦軸と横軸にとって対応点をプロットして作成した図である。基本的には対応点が右肩上がりの場合には正の相関，右肩下がりの場合には負の相関と考えられる。対応物の特性とその変動要因の関係性や，特性と他の要因との関係性が把握できる。
- (3) 製品の製造過程などで特性値の変動をプロットし，製造工程が管理限界内で安定した状態にあるかどうかを判断するための図である。図の中心に平均値を表す中央線と，許容範囲の限界に上下一対の限界線を引き，品質不良や工程の異常を検出して不良原因の除去や再発防止に役立てる。
- (4) データを幾つかの項目に分類し，項目ごとに集計した数が多い順に棒グラフを作成し，その累積比率を示した折れ線グラフを重ねる図である。全体に占める累計割合を見ることにより管理上の重要項目を明確にできる。
- (5) ある製品をロット単位で抜き取り検査する方法において，横軸にロットの不良率を，縦軸にはロットの合格の確率をとり，ある不良率をもったロットがどの程度の確率で合格するかを判断するための図である。抜き取り検査を行う場合，その検査を行う元となる母集団の実際の状況を抜き取ったモノの状態から推定するために利用する。
- (6) 問題解決などを進める過程において，目的を達成するための手段や問題を予測し，プロセスの進行を進める手順を図にしたもの。不測の事態に備え，様々な目的達成法を検討し，問題が生じたときには，軌道修正することが可能である。
- (7) プロジェクト全体を構成する各作業の前後関係をまとめ，相互依存関係を図にしたものである。各作業の所要時間からプロジェクト全体の所要時間を算出し，プロジェクトの日程管理や工程管理上の重要作業も明らかにできる。
- (8) 可能性のある選択肢や起こりうるシナリオすべてを樹形図の形で洗い出し，それぞれの選択肢の期待値をまとめた図である。どの状況のとき，どう行動すれば，最善の結末に至ることができるかを比較検討できる。

(1) ～ (4) の解答群

ア. 管理図

ウ. 散布図

オ. 特性要因図

キ. マトリクス図

イ. 系統図

エ. 親和図

カ. パレート図

ク. 連関図

(5) ～ (8) の解答群

ア. PDPC

ウ. OC 曲線

オ. 回帰分析

キ. ヒストグラム

イ. ABC 分析

エ. アローダイアグラム

カ. デシジョンツリー

ク. マトリクス図

問題2 次のオペレーティングシステムに関する各設問に答えよ。

<設問1> 次のオペレーティングシステムの役割として適切な記述を解答群から選べ。

[オペレーティングシステムの役割]

- ① CPU やメモリ，周辺装置などの資源を有効に活用する。
- ② データベースに対して，データ定義，データ操作，データ管理を行う。
- ③ ハードウェアとソフトウェアを仲介する。

(1) の解答群

- | | | |
|----------|---------|--------|
| ア. ① | イ. ② | ウ. ③ |
| エ. ①と② | オ. ①と③ | カ. ②と③ |
| キ. ①と②と③ | ク. 該当なし | |

<設問2> 次のオペレーティングシステムの機能に関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (2) 1台のコンピュータを，同時に複数の利用者と利用する。
- (3) 複数の処理を並行して行う。

(2) , (3) の解答群

- | | |
|-------------|--------------|
| ア. シングルタスク | イ. シングルユーザ |
| ウ. ファイルシステム | エ. プラグアンドプレイ |
| オ. マルチタスク | カ. マルチユーザ |

<設問3> 次のオペレーティングシステムの起動に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

コンピュータに電源を入れて起動すると，まずマザーボードに組み込まれた ROM に記憶されている (4) が起動し，インタフェースやハードディスク等を制御可能な状態にする。

次に，ハードディスク内のどの領域(パーティション)からオペレーティングシステムが起動するか選択され，そのパーティションの (5) と呼ばれる領域に記録されたプログラムを呼び出す。このプログラムは，オペレーティングシステムをメモリに読み込んで起動し，操作可能な状態にする。

(4) , (5) の解答群

- | | |
|-----------|----------------|
| ア. BIOS | イ. BSD |
| ウ. GUI | エ. パーティションテーブル |
| オ. ブートセクタ | カ. ルートディレクトリ |

<設問 4> 次のオペレーティングシステムの種類に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

1969 年に AT&T 社ベル研究所で開発されたワークステーション用のオペレーティングシステムが UNIX である。その後、様々な企業や開発者により UNIX の仕様に似たオペレーティングシステムが開発され、それらを総称して UNIX と呼ぶこともある。その中で代表的なものが、1991 年にフィンランドのヘルシンキ大学の大学院生によって開発された (6) である。このオペレーティングシステムは、オープンソースソフトウェアであり、仕様やソースコードが公開され広く普及した。

(6) の解答群

- | | | | |
|--------|----------|---------|------------|
| ア. DOS | イ. Linux | ウ. OS/2 | エ. Windows |
|--------|----------|---------|------------|

問題3 次のネットワークに関する各設問に答えよ。

<設問1> 次のTCP/IPに関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

TCP/IPを使用したネットワークにパソコン等のネットワーク機器を接続する場合は、各機器にIPアドレスを割り振る必要がある。IPアドレスには、ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) などによって管理されている世界中で一意に定められた□□(1) IPアドレスと、LANの中だけで使われる□□(2) IPアドレスがある。

LANの中で使用するネットワーク機器にIPアドレスを設定する場合は、IPアドレスが重複しないようする。企業などでは、管理目的でIPアドレスをネットワーク機器ごとに固定して利用するが、飲食店などでサービスが提供されているWi-Fiスポットでは、不特定多数の利用者が接続するため、パソコンやスマートフォンごとにIPアドレスを固定することができない。このような場合に用いるのが□□(3)である。これは、利用できるIPアドレスの範囲から空いているIPアドレスを割り当て、接続に必要な情報を自動的に送信する仕組みである。

また、□□(2) IPアドレスを持つLAN内の機器からインターネットへ接続するには、□□(2) IPアドレスを□□(1) IPアドレスへ変換しなければならない。この変換方式の一つに□□(4)がある。これは、1対1でアドレス変換を行うため、LANのネットワーク機器を複数同時にインターネットへ接続することはできない。これに対し、□□(5)は□□(2) IPアドレスごとに異なるポート番号に変換するため、LANのネットワーク機器を複数同時にインターネットへ接続することができる。

(1) , (2) の解答群

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| ア. グローバル | イ. ファイアウォール | ウ. ブロードキャスト |
| エ. プライベート | オ. マルチキャスト | カ. ローカルホスト |

(3) ~ (5) の解答群

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| ア. DHCP | イ. DNS | ウ. HTTP | エ. NAPT |
| オ. NAS | カ. NAT | キ. SMTP | ク. UDP |

<設問2> 次のIPアドレスのクラスに関する記述中の[]に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。なお、(2)は設問1と同じ字句が入る。

IPアドレスはネットワークアドレス部とホストアドレス部に分かれている。IPv4では、第1オクテットの値により区分されるクラスがある。

表 クラスA～Cのネットワークアドレス部のビット数とビット列

クラス	ビット数	ネットワークアドレス部のビット列
A	8	0xxx xxxx
B	16	10xx xxxx xxxx xxxx
C	24	110x xxxx xxxx xxxx xxxx

※ ビット列の「x」は「0」または「1」である

(2) IPアドレスをクラスA～Cで割り当てる場合、使用できるIPアドレスの範囲が以下のように決まっている。

クラスA 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255

クラスB 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255

クラスC [(6)] .168.0.0 ～ [(6)] .168.255.255

(6) の解答群

ア. 178

イ. 184

ウ. 188

エ. 192

<設問3> 次のCIDR (Classless Inter-Domain Routing) によるIPアドレスの割り当てに関する記述中の[]に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

クラスA～CによりIPアドレスの割り当てをすると、ネットワークアドレス部のビット数が、8、16、24ビットに固定されるため、ホストアドレスが不足したり、使われないホストアドレスが多く発生したりする。そこで、ネットワークアドレス部の長さを1ビット単位で設定できるようにしたものがCIDRである。

CIDRでは、例えば「172.16.17.96/27」のように、ネットワークアドレス部の後に「/」とネットワークアドレス部のビット数を記述する。この例の場合、ホストアドレス部は5ビットになるため、同一セグメントの機器に設定できるIPアドレスは、[(7)]個となる。

ただし、ホストアドレス部のビット列が全て「0」と、全て「1」のIPアドレスは使用できない。

(7) の解答群

ア. 14

イ. 16

ウ. 30

エ. 32

<設問4> ネットワークアドレス「172.16.17.96/27」に設定できる IP アドレスを解答群から選べ。

(8) の解答群

ア. 172.16.17.50

イ. 172.16.17.100

ウ. 172.16.17.150

エ. 172.16.17.200

問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。

問題4 次の情報ネットワーク社会への対応に関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (1) インターネットを活用したオンラインショップなどでは、多くの商品を取り扱える。個々の売上が小さな商品でもそれらを合計すれば、全体の売上合計に占める割合が無視できない状態。
- (2) 膨大な生データからそこに潜む法則や因果関係を、統計やパターン認識などを用いて導き出す。クレジットカードの不正使用のパターンの検出など、様々な分野に応用されている。
- (3) コンピュータを組み込んだ腕時計や眼鏡型のディスプレイなど、常に身につけて使用するもので、利用者の行動や健康状態の情報収集、利用者に道路案内するなどのリアルタイムの情報提供に応用される。
- (4) SNS を通じて宣伝を行うことで、記事を読んでいる人に情報を拡散させ、広告やマーケティングに活用する手法である。
- (5) 人間のように知的な活動ができるソフトウェアやシステムのことである。人間の脳が行う知的な作業をコンピュータで模倣するもので、言語を理解したり、推論を行ったり、経験からの学習をしたりする。
- (6) インターネットなどのネットワークを利用して、ネットワーク上にあるサーバのサービスを活用できる仕組みである。ネットワークを通じて世界中のどこからでも高度なコンピュータ処理のサービスを利用できる。
- (7) システムの利用者が、システムの構築や運用に積極的に携わることである。業務そのものを一番よく知っている利用者が主導するため、迅速な意思決定に基づく業務の推進が可能である。
- (8) コンピュータを用いた設計・製図の支援システムで、製品の形状や構造などの情報を与えながら設計図を作成する。立体や切断面も簡単に表現できる。

(1) ～ (4) の解答群

- ア. ウェアラブルコンピュータ
- ウ. グリッドコンピューティング
- オ. バズマーケティング

- イ. エゴサーチ
- エ. データマイニング
- カ. ロングテール

(5) ～ (8) の解答群

- ア. AI
- ウ. EUC
- オ. クラウドコンピューティング

- イ. CAD
- エ. ESSID
- カ. レンダリング

問題5 次の情報セキュリティに関する各設問に答えよ。

<設問1> 次のパスワードに関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

ユーザ認証の一般的な方法としてユーザIDとパスワードの組み合わせがある。パスワードの強度とは、パスワードが推測されにくく設定されているかを表すものであり、強さの指標の一つとしてパスワードの長さ(文字数)がある。例えば、数字(0~9)だけで4文字のパスワードを作成した場合、 10^4 通りがすべての組み合わせであり、そのうちの一つが使用されているパスワードとなる。しかし、パスワードの長さを8文字にすると、すべての組み合わせが□□(1)□□通りとなり、より推測しにくい強いパスワードとなる。さらに、数字に加えてアルファベットの大文字と小文字も使用することになると、4文字のパスワードでもすべての組み合わせが□□(2)□□通りであり、8文字にするとより強いパスワードになる。

長さが十分であっても、推測されやすいパスワードは強いパスワードとは言えない。次に示すパスワードの設定例の中で、一般的に好ましくないとされるパスワードは□□(3)□□。

[パスワードの設定例]

- ① 電話番号をパスワードに使用した。
- ② 記号を含めたランダムな文字列を使用した。
- ③ 名前のローマ字表記を、スペルを逆順にして使用した。

(1) の解答群

- ア. 2×10^4 イ. 8×10^4 ウ. 10^8 エ. 2×10^8 オ. 8×10^8

(2) の解答群

- ア. 26^4 イ. 36^4 ウ. 46^4 エ. 52^4 オ. 62^4

(3) の解答群

- ア. ①だけである イ. ②だけである ウ. ③だけである
エ. ①と②である オ. ①と③である カ. ②と③である
キ. ①と②と③である ク. ひとつもない

<設問 2> 次のセキュリティ攻撃に関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (4) データベースを利用する Web アプリケーションに、データベースを操作する文の一部と解釈されるようなパラメータを、悪意を持って与えることにより、本来はアクセスできないデータを取得したり、不正にデータを改ざんしたりする攻撃のこと。
- (5) IP アドレスとドメインを対応させている情報を書き換えて、本来のドメインへのアクセスを出来なくさせたり、有害なサイトへ誘導させたりする攻撃のこと。
- (6) Web サイトのフォームなどを利用して悪意のあるプログラムを実行させること。フォームで送られた情報をそのまま表示するようなサイトで利用され、第三者が Web サイトを訪れた際にプログラムが実行されるようにする。プログラムが実行されると、Cookie に保存された情報が盗まれる危険性がある。
- (7) Web サイト上で、公開しているフォルダからパスをさかのぼるなどして非公開のフォルダへたどり着き、そこにあるファイルに不正にアクセスする攻撃のこと。
- (8) ソフトウェアにセキュリティホールが発見されると、メーカーなどが対応策としてパッチを即座に公開するのが一般的である。このパッチが公開される前に、そのセキュリティホールを利用して攻撃すること。

(4) , (5) の解答群

- | | |
|--------------------|------------------|
| ア. DNS キャッシュポイズニング | イ. DoS 攻撃 |
| ウ. SQL インジェクション | エ. ソーシャルエンジニアリング |

(6) ~ (8) の解答群

- | | |
|-------------------|----------------|
| ア. クロスサイトスクリプティング | イ. ゼロデイ攻撃 |
| ウ. ディレクトリトラバーサル | エ. バッファオーバーフロー |
| オ. ブルートフォースアタック | カ. ランサムウェア |

問題6 次の表計算ソフトの仕様を読み、競技会の集計処理に関する記述中の□
に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

IF 関数

条件が真のときに真の場合、偽のときに偽の場合の計算結果や値を返す。

書式：IF(条件, 真の場合, 偽の場合)

MAX

範囲の中に含まれる数値の最大値を返す。

書式：MAX(範囲)

MIN

範囲の中に含まれる数値の最小値を返す。

書式：MIN(範囲)

RANK

範囲内の数値を並べたときに何番目になるかを返す。順序は、降順の場合は 0、昇順の場合は 1 を設定する。

書式：RANK(数値, 範囲, 順序)

VLOOKUP

検索値を左端に含む行を範囲の中から検索し、指定した列位置の値を返す。検索の型に 0 を指定すると検索値と完全に一致する値を検索し、1 を指定すると検索値と一致する値がない場合に、検索値未満で一番大きい値を検索する。なお、該当する行が検索できなかった場合は、エラーを返す。

書式：VLOOKUP(検索値, 範囲, 列位置, 検索の型)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に \$ を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより別シートを参照できる。

例：シート名「集計」のセル A1 を参照する場合は、集計!A1 と記述する。

ある地区の陸上競技大会があり、その集計に表計算ソフトを用いた。ここでは、100m 走のタイムを集計する表を作成することを考える。なお、100m 走にエントリーした選手は 20 名である。

<設問 1> 次の 100m 走の「記録」表作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

	A	B	C	D	E	F	G
1	選手番号	氏名	1回目	2回目	3回目	最高タイム	順位
2	2101	寺田憲太郎	12.77	12.08	13.31	12.08	16
3	2102	青柳慧	12.01	13.93	13.89	12.01	14
4	2103	砂川勝也	11.85	13.03	13.72	11.85	13
5	2201	木原孝治	12.25	13.44	10.83	10.83	1
6	2202	渡邊直樹	12.98	11.37	11.38	11.37	7
:	:	:	:	:	:	:	:
17	2701	北川匠	13.89	12.76	12.30	12.30	17
18	2702	住田駿佑	12.72	12.85	13.46	12.72	18
19	2703	渋谷慧也	11.53	13.89	13.43	11.53	10
20	2801	船越相太	13.11	13.98	13.09	13.09	20
21	2802	富永拓真	13.61	12.10	11.24	11.24	3

図 1 「記録」表

1. セル A2~B21 にエントリーした選手の選手番号と氏名を入力し、1 回目~3 回目の記録をセル C2~E21 に入力した。

2. セル F2~F21 は、個人ごとの最高タイムを表示する。セル F2 に次の式を入力し、セル F3~F21 に複写した。なお、最も時間がかかっていないデータを最高タイムとする。

=

3. セル G2~G21 は、最高タイムによる順位を表示する。セル G2 に次の式を入力し、セル G3~G21 に複写した。

=

(1) の解答群

ア. MAX(C\$2:E\$2)

イ. MAX(C2:E2)

ウ. MIN(C\$2:E\$2)

エ. MIN(C2:E2)

(2) の解答群

ア. RANK(F\$2, F\$2:F\$21, 0)

イ. RANK(F\$2, F\$2:F\$21, 1)

ウ. RANK(F2, F\$2:F\$21, 0)

エ. RANK(F2, F\$2:F\$21, 1)

<設問2> 次の「成績上位者」表の作成に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

「記録」表をもとにして、最高タイムの良いデータを表示する「成績上位者表」を作成する。

まず、「記録」表を順位で並べ替える。ただし、同タイムの場合は選手番号の小さい順に並ぶようにする。この場合、第1キー（最優先されるキー）と順序は□(3)□であり、第2キー（次に優先されるキー）と順序は□(4)□である。

	A	B	C	D	E	F	G
1	選手番号	氏名	1回目	2回目	3回目	最高タイム	順位
2	2201	木原孝治	12.25	13.44	10.83	10.83	1
3	2602	諏訪慶太	10.95	12.10	11.14	10.95	2
4	2302	三輪克人	13.00	13.19	11.24	11.24	3
5	2802	富永拓真	13.61	12.10	11.24	11.24	3
6	2403	谷村晋伍	13.42	11.30	12.21	11.30	5
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
17	2101	寺田憲太郎	12.77	12.08	13.31	12.08	16
18	2701	北川匠	13.89	12.76	12.30	12.30	17
19	2702	住田駿佑	12.72	12.85	13.46	12.72	18
20	2203	松原一貴	13.40	12.92	13.89	12.92	19
21	2801	船越相太	13.11	13.98	13.09	13.09	20

図2 並べ替えた「記録」表

「成績上位者」表は、同順位があっても最大で10人まで表示できるようにし、何位まで表示するかはセルB2に入力した値で決定する。

	A	B	C	D	E
1	表示順位	3	位まで		
2					
3	No	順位	選手番号	氏名	最高タイム
4	1	1	2201	木原孝治	10.83
5	2	2	2602	諏訪慶太	10.95
6	3	3	2302	三輪克人	11.24
7	4	3	2802	富永拓真	11.24
8	5				
9	6				
10	7				
11	8				
12	9				
13	10				

図3 「成績上位者」表

1. セルA4～A13には連番として1～10を入力した。
2. セルB4～B13は順位を表示する。「記録」表が順位で並んでいることを利用し、「記録」表の先頭の順位（セルG2）と先頭のNo（セルA4）を比べ、値が同じ、ま

たは、順位が小さければ「記録」表の順位を表示し、そうでなければ、空表示にするため、次の式を入力し、セル B5～B13 に複写した。

=

3. セル C4～C13 は選手番号を表示する。「記録」表が順番に並んでいることを利用し、順位を取り出した行と同じ行位置から値を取得するため次の式をセル C4 に入力し、セル C5～C13 まで複写した。ただし、順位が空表示であれば、空表示にする。

=

4. セル D4～D13 は氏名を表示する。C 列に表示される選手番号をもとに「記録」表を検索するため、次の式をセル D4 に入力し、セル D5～D13 まで複写した。ただし、順位が空表示であれば、空表示にする。

=

5. セル E4～E13 は最高タイムを表示する。C 列に表示される選手番号をもとに「記録」表を検索するため、次の式をセル E4 に入力し、セル E5～E13 まで複写した。ただし、順位が空表示であれば、空表示にする。

=

(3) , (4) の解答群

- | | |
|------------|------------|
| ア. 順位の昇順 | イ. 順位の降順 |
| ウ. 選手番号の昇順 | エ. 選手番号の降順 |

(5) の解答群

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ア. IF(記録!G2<=B\$1, "", 記録!G2) | イ. IF(記録!G2<B1, "", 記録!G\$2) |
| ウ. IF(記録!G2<=B\$1, 記録!G2, "") | エ. IF(記録!G2<B1, 記録!G\$2, "") |

(6) の解答群

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| ア. IF(B4="", "", 記録!A\$2) | イ. IF(B4="", "", 記録!A2) |
| ウ. IF(B4="", 記録!A\$2, "") | エ. IF(B4="", 記録!A2, "") |

(7) , (8) の解答群

- | |
|--|
| ア. IF(C4="", "", VLOOKUP(C4, 記録!A\$2:F\$21, 2, 0)) |
| イ. IF(C4="", "", VLOOKUP(C4, 記録!A2:F21, 2, 0)) |
| ウ. IF(C4="", "", VLOOKUP(C4, 記録!A\$2:F\$21, 6, 0)) |
| エ. IF(C4="", "", VLOOKUP(C4, 記録!A2:F21, 6, 0)) |
| オ. IF(C4="", VLOOKUP(C4, 記録!A\$2:F\$21, 2, 0), "") |
| カ. IF(C4="", VLOOKUP(C4, 記録!A2:F21, 2, 0), "") |
| キ. IF(C4="", VLOOKUP(C4, 記録!A\$2:F\$21, 6, 0), "") |
| ク. IF(C4="", VLOOKUP(C4, 記録!A2:F21, 6, 0), "") |

